

(前頁から続く)

で遠くシベリアから越冬するために飛来した姿も参加者の目を楽しませました。午後の部で観察できた野鳥は17種で、マガモのつがい池で観察でき、冬の到来をうかがわせました。



ジョウビタキ

参加者には、昨年5月「野鳥と自然観察会」が協力し、「しあわせの村」が作成した『バードウォッチングガイド』(小冊子150円)が配布され、子ども達には野鳥を呼ぶ「バードコール」が手渡され、興味深げに試していました。

当日のわの支援は、西隈環境部長(環7)の司会進行により、しあわせの村の畑中事業推進課長の主催者挨拶、「野鳥と自然観察会」の水島前代表(環6)の双眼鏡の使い方や観察時の留意点の説明、観察できた野鳥の確認「鳥合せ」は新代表の茅中(環11)が行い、その他のスタッフは受付や観察時の安全ガイド等に従事しました。

受付にはパネルで年間79種の野鳥が村内で観察できることや、村内に設置した巣箱から昨春ヤマガラやシジュウカラの雛150羽余が巣立ったことを展示しました。

参加者からは、珍しい「カワセミ」など様々な野鳥が身近で観察できて楽しかったとの声が多く聞かれ、またわの活動についても質問があり、活動への理解が少し広まったのではないかと。そうであれば私たち支援者も嬉しい限りです。

文化部会

KSC 手話コーラス同好会
音楽グループ交流フェスタに参加
食11-文 井上美津子

平成19年12月2日(日)神戸生活創造センターに登録している、音楽を愛するグループの交流会がありました。琴・ハーモニカ・オカリナ・マンドリン・コーラスなど14グループが参加していました。シルバーカレッジからは、楽遊クラブ(銭太鼓)と私たちの手話コーラス同好会が出演いたしました。印象に残ったのは、メンバーの一人が制作した「バリオン」という、手のひらサイズの楽器での演奏でした。微妙な音の調節で奏でられる音楽は不思議な音色で心に響きました。

手話コーラス同好会も日頃のボランティア活動への取り組みなど紹介し、練習の成果を発表いたしました。手話コーラスという他にない音楽表現のため、皆さんと一緒にすることを心がけて、今年の大ヒット曲「千の風になって」・和製シャンソン「忘れな草をあなたに」を演じ、会場の皆さんからたくさんの拍手を頂きました。



他のグループの演奏を楽しみ、最後に「ふるさと」を会場の皆さんと合唱・合奏し、私たちは手話コーラスで参加し、音楽グループ交流フェスタを締めくくりました。

手話コーラス同好会では、難聴者協会などの主催する講座を受講し、手話への理解と技能向上の努力を続けている会員も増えてきました。

いきがい部会

第1回市民グランドゴルフ大会
理事 西田圭一

市民の健康増進策として、かねてからいきがい部会を中心に企画し、準備を進めて参りました「第1回市民健康増進グランドゴルフ大会」が去る10月18日しあわせの村球技場で開催されました。

最近急に人気の出てきたニューススポーツだけに24組144名もの多くの参加者があり、グランドは元気の歓声が終日響き渡り、大盛況でした。

絶好のゴルフ日和に恵まれ、皆さん夢中で球を追い、快い汗を流されました。



最終的に本大会には33組200名近い方の申し込みが殺到し、運営上9組54名の方に参加を断念していただくざるを得ない状況でした。参加者からは、来年も是非開催をという厚い要望がありましたので、グループわとしても市民の健康増進と仲間作りのために来年度も開催する方針です。

季節を感じさせる歌、懐かしい歌、童謡、歌謡曲などを準備し、今、流行の歌まで手話表現する曲も増えてきました。年に1度の「手話シャンソンコンサート」を觀賞し、手話表現の勉強につなげるように心がけています。

音楽フェスタへの参加は今回が初めてですが、皆さんへ手話コーラスを知っていただく良い機会でした。表現力の勉強は今後の課題です。

